



ふじつかのかぜ

令和3年7月20日 No. 15

実りある夏休みを！

終業式を終え、明日から夏休みとなります。各学級で1学期を振り返り、一人一人の成果と課題が見えたところと思います。夏休みは、その成果をさらに伸ばしたり、課題を克服したりする絶好のチャンスであり、日頃できないことにチャレンジできる機会でもあります。ぜひ、この夏休みに一歩踏み出してみてください。

終業式で、3年生と6年生の代表児童が作文「1学期をふり返って」を発表しました。二人とも終業式では、落ち着いて立派に発表できました。その作文を紹介します。

【3年代表児童】

わたしは、1学期をふり返ると、がんばったことが3つありました。

1つ目は、体育のことです。体育では、「スポーツフェスティバル」や「リレー」などをがんばりました。スポーツフェスティバルでは、大玉ころがしやときよう走をやりました。ときよう走では、前を走る友だちをぬかせるように走りました。でも、本番では3位でした。悔しかったです。大玉ころがしでは、2人でタイミングを合わせて大玉をころがすことができました。ゴールのフラフープの中に大玉を早く入れられてとてもうれしかったです。

じゅぎょうのリレーでは、速く走るにはどうすればいいか、仲間とそうだんして、ならびじゅんやバトンパスを工夫しました。むずかしかったけど、楽しかったです。

2つ目は、算数のことです。算数では、かけ算のひっ算やわり算を頑張りました。かけ算のひっ算は、さいしょは意味が分からなかったけど、勉強していくうちにだんだん分かってきて、すらすらできるようになりました。わり算は教えてもらったとおりにやったら、すらすらできました。

3つ目は、書写です。書写では、習字をがんばりました。きれいにていねいに書いてもなかなか上手に書けなくてくやしかったです。たくさんたくさん練習して少しずつ上手になったかなと思う時もあったけど、「みんなは、どうして上手に書けるんだろう」と思っていました。でも、教頭先生は、「上手に書けなくてもいいから、ていねいに書いて。」と言っていました。だから、ていねいに書いてみたら、今までで一番上手に書けました。ていねいに書くことは大事だなと思いました。

2学期は、もっと字を上手に書けるようにていねいに書くことを心がけ、計算は、速くできるように練習問題をがんばり、元気に体を動かして、足も速くなりたいと思います。

【6年代表児童】

私がこの1学期で一番頑張ったことは、だれかに質問された時に適切な答えをすぐに教えてあげることです。

6年生になると、委員会やクラブなどさまざまな場面で下級生や友達から質問されます。さらに、私は合唱団に入っているので、4、5年生から質問される機会が多いのです。5年生の頃は、質問されても答えることができずにあたふたしている自分がいました。でも、今年は最高学年として、いつでも質問に答えられるように、学校や合唱団でやるべきことなどをしっかりと身につけられるよう努力してきました。例えば、合唱団の下級生に、「これはどこに片付けるんですか。」と聞かれた時は、すぐに適切に答えを教えて手伝ってあげることができました。これからも、こういう努力を続けていきたいと思います。

一方で、5年生の時に比べて、積極的に手を挙げて発表しなくなっていました。問題が難しくなって、自信がなくなってしまったのかもしれませんが、間違ってもいいから自分の意見を発表することは大事だと思います。実際に私は、人の意見を聞いて、「なるほど、そういう考えもあるのか。」などと思うことがたくさんあります。自分の意見と比べることができて友達の意見がとても参考になります。このように、自分の意見が少しでも友達のためになるのなら、発表しなければと思います。また、発表することは、自分が成長するためにも大事なんだとあらためて思いました。2学期は、積極的に手を挙げ、自分の意見を発表することを目標にしたいと思います。

その他の児童もそれぞれの学級で「1学期を振り返って」の作文を書きました。自分自身の振り返りを大切にして、2学期を迎えてほしいと思います。

また、保護者の皆様には、1学期の4ヶ月間、たいへんお世話になりました。